

1 事業概要

事務事業名		地域の人権平和・多文化学習交流支援事業			課名	公民館	事業No.	310	
					会計	一般会計			
					事業区分	政策	実施区分	継続	
					開始		終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画								
		分野別計画			飯田市版総合戦略				
					飯田市教育振興計画				
	法令・例規等			飯田市民館基本方針					
			社会教育法						
事業目的	対象	各地区住民							
	意図	身近な地域の中での学習と交流を通じて、相互の違いや多様性への理解を深める							

2 事業内容

30年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	地区公民館事業 住民相互の文化の違いや多様性を理解し、人権・平和の意識を高める学習や交流会を実施しました。 また、今年度は、人形劇フェスタにおける世界フェスの機会を捉え、中学校区公演の事前学習として国際理解を進める取組をしました。 ・日本語教室（竜丘、羽場、山本） ・多文化交流・国際理解教育（松尾、山本、千代） ・人権学習（川路、座光寺、伊賀良、鼎、上郷、上村、南信濃） ・平和学習（三穂、鼎）		人権教育・平和学習会、多文化共生事業等				337	
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度	令和2年度	
	人権・平和学習会、交流会開催回数	回	86	92	92			
	講座等参加者延べ人数	人	1,715	1,756	1,694			
30年度 決算 (千円)	予算額	361	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	337						
	財源の 状況	国庫支出金	0					
		県支出金	0					
		地方債	0					
		その他	0					
一般財源	337							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	4	11	2	361	337	公民館事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		・高齢者や障がい者、外国人住民への理解や人権に関する講座、日本語教室等の取組をしました。互いを尊重し支えあう社会をめざすためには、日々の暮らしの中での更なる人権・平和に対する意識の向上は欠かせないことです。 ・平和学習として戦争体験者の話を聴いたり、満州移民の歴史について取り組みましたが、年々、戦争の実体験を伝える方が減少し、戦争の実態を伝え平和について学ぶことが難しくなっています。							
上記の課題解決のための有効策		・区内の高齢者や障がい者、外国人住民と地区住民や小中学生が交流する場を積極的に提供できるよう取り組みます。							
次年度に向けての取り組み		・各地区において、引き続き人権、平和、国際理解教育に取り組み、区内の高齢者や障がい者、外国人住民と地区住民や小中学生が交流する場を提供します。							